

ことばの研究社
TEL 086-486-1742
FAX 086-486-1744
kotoba_kan@yahoo.co.jp

シリーズ 3、「物の観方・考え方」 新しい生活・学習形態で、教育を見直す時期！

- ※ 6月を迎えた現在、新型コロナウイルス感染症は未だに終息する見通しが無い。前号の前文で触れた通り、EPA受け入れ制度、並びに技能実習生受け入れ制度が根幹から、強い衝撃を受けている。
- ※ 今後の人材不足を解消するには、外国人労働力に頼りたくても頼れない状態が、数年間は続く予想される。この状況を乗り切るためには、現在の人材を確実に合格させて、実践力として確保する必要がある。

- ※ また、今までの教育方法を改めて、合格率の高い方法を確立する必要がある。さらに、対面や通学などの学習形態から脱皮して、新たなオンライン方式の教育環境を整備する必要がある。
- ※ 現在は、社会の大きな変容時期であることを認識して、従来の方法に捕らわれず、大胆に社会変容に合わせた学習環境を早急にとるべきだ。この対応ができないと、間違いなく経営破綻となる。

I、【対面式と間接式(オンライン)の違い？】

表1	間接式授業形態の種類	授業理解度の特徴
1、	Eラーニング	一方的な情報提供。(聞くだけ・見るだけの学習)
2、	オンラインワンウェイ	一方的な説明指導。(受け身の授業形態)
3、	オンライン双方向	三種類に分けられる。教師の熟練度合により、差が生じる。
	A、教師発声 70~80%	受験者反応 20%~30%のために、一方的な説明指導になりがち。
	B、教師発声 40~50%	受験者反応 60~50%のために、受動的な姿勢が大きい。
	C、教師発声 20%	受験者反応 80%のために、能動的な姿勢で理解度が高まる。

1、対面式の特徴

学校形態の授業と同様に、直接受験者と教師が触れ合う程の距離で、肉声会話を行うことができる。親密感が増し、意思疎通ができる環境が成立する。しかし、教師の一方的な説明型の対面式では、意思疎通が不十分となる。最大の問題は、人間関係が成立するために、学習目的から外れて、馴れ合いの授業となる傾向が強いこと。

2、間接式(オンライン)の特徴

同じ空間で直接管理指導ができる対面式とは異なり、違った空間で電波を通して、音声指導をすることが最大の違い。即ち、間接式は、あくまでも受験者の主体的な意識と自覚がなければ成立できない。また、肉声ではなく音声の指導となるために、信頼感を成立するためには、教師の「十分な熟練度」が必要となる。

3、理解度の到達度を見極めることが重要

対面式と間接式(オンライン)ともに絶対必要不可欠な要素は、教育効果を測定する到達度試験が重要となる。教師は定期的に到達度を確認しながら、受験者の理解度を把握し、次の指導の目安にすることが重要。また、受験者は定期的な到達度の結果を数値で把握することができるために、学習意欲の継続を維持できる。さらに、受け入れ機関は到達度の結果が得られるために、現場での受験者対応、並びに指導にそれを活用することができる。

II、【間接式(オンライン)のメリットは？】

1、勤務時間内で行うオンラインの場合

- A、受験者のシフトに合わせて、勤務時間内で行われるために、通学時間、並びに交通費がかからず、勤務に集中させることができる。
- B、火急の業務が起きた場合には、授業日時を変更して、現場業務に支障なく対応させることができる。
- C、現場管理者は、受け入れ機関内で授業を行うために、見学して授業の実態把握ができる。
- D、受け入れ機関の職員と教師とが、授業内容、並びにシフトなどについて、直接オンラインで話し、今後の進め方などを確認できる。

2、勤務時間外で行うオンラインの場合

- A、受験者の勤務時間を割くことなく、全ての時間を業務に従事させることができる。また、受験者の「自主管理能力」を養い、自宅での学習に専念できる。
- B、「自主管理能力」が養われるために、授業の日時を教師とメールでやり取りをすることができ、業務に必要な「構文力」を養うことができる。また、授業内容についても同様に行える。
- C、授業内容等について、管理者に口答、並びに書面で報告させることで、日本語力を高められる。

Ⅲ、【 到達度試験参加者は、全員オンライン教育で、 高い合格率を保持！！ 】

1、オンライン教育の開始は、10年も前から！

- 弊社が開催する【国家試験受験能力到達度試験】の方法は、既にEPA開始時からオンライン教育と到達度試験の併用型で行ってきた。
さらに、使用する教材は外国人が未熟な日本語力であっても、自学できる教材を使用している。
- その結果、表2の【合格への道】で示した「三か年学習計画」に基づき実施したところ、毎回の国家試験合格率は、70～80%の高水準を保持している。
- オンライン教育で教育効果を上げるためには、教育の効果を測定する到達度試験がなければ、その効果が把握できず、ただ受けているだけの経験しか残らないし、理解力が高まらない。
この点が、現在新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、急遽、多くの所で取り入れられているオンライン教育との大きな違いだ。

表2、【 合格への道 】 「三か年学習計画」



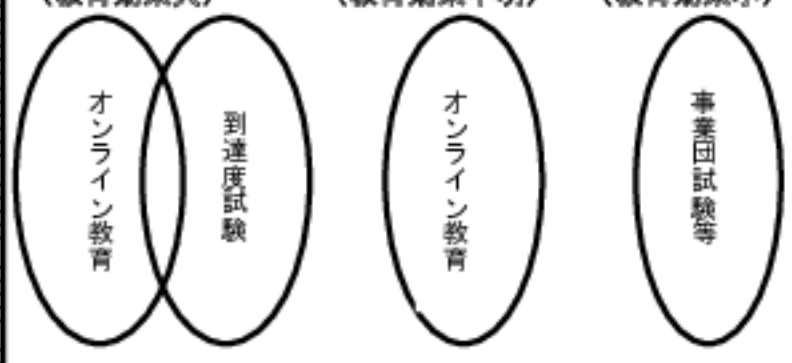
※ 上記に従った学習目的を達成するために、全て間接式教育「双方向併用型」で行い、確実に合格を目指す。

表3、【 間接式教育の種類 】

双方向・併用型
(教育効果大)

一方向型
(教育効果不明)

暗記力試験
(教育効果小)



2、なぜ、間接式教育に不安を抱くのか？

- 受け入れ機関の職員から、今まで多くの不安の声を聞かされた。それは、「対面式教育でないと、十分な指導を受けられず、そして、教師間との信頼関係が持てないのではないか」という声だ。しかし、今回のコロナ騒動で、通学や対面式教育ができなくなった社会の変容に対応するためには、否応なく、間接式教育をとらざるを得なくなった。これを機に、間接式教育に因する不安の声は、一挙に沈下してしまった。
- 日本の教育制度は、全て対面式で、集合教育だった。しかし、世界では数十年前から、間接式教育が発達している国がある。それは、豪州で発達した通信教育制度だ。豪州の教育水準は、世界でも高い。

Ⅳ、【 「四つの視点」で、コロナ禍を観る！！ 】

表4、【 四つの視点 】

1. 大局的に 観る。
2. 総合的に 考える。
3. 体系的に 創る。
4. 継続的に 行う。

- 今回のコロナ禍は、まさか日本にこんな大きな影響を及ぼすとは、誰も考えていなかった。日本人の多くは、あくまでも対岸の火事としか考えず、ましてや、EPA事業に携わる関係者は、事業自体が中断され、今後の行く末も不明になるとは、考えもしなかった。
- 大局的に観ると、コロナ禍の原因は、有害なウイルスであることが判明した時から、過去の歴史で大流行したペストやスペイン風邪の禍を理解していれば、日本にも多大な影響が生じることは、道理だと言える。即ち、大局的な捉え方で、過去の歴史をも考慮して、総合的に考えれば、この事態を予測できたはずだ。
- このウイルス対策を人間の英知を出し合って、体系的に創り、そして、その対応方法を継続させることができる社会の仕組みを、早急に創り出す必要がある。EPA事業についても、この【四つの視点】から捉えて、今後の医療・福祉分野での労働力確保の体制を、早急に創り出す必要性が問われているが、それを実践するのは、あくまでも当事者達だ。

誰でもスカイプ授業の見学ができます！！
日本人職員の見学大歓迎

- 客観的に授業内容を見て、現在受けさせている授業と比較することができます。また、参加受験者と非参加受験者の言語能力を客観的に比較して観ることができますので、参考にして下さい。

途中でも「到達度試験」に参加できます！！
途中到達度試験参加者大歓迎

- 2、3年目の受験者に限らず、足切り受験者でも参加することができるのが、到達度試験の特徴です。今まで途中参加者が無理なく、合格している実績を考えると、今からでもあきらめずにご参加下さい。

**大手の専門学校に通学、
教育効果は、正直分らない！**

- 東京都は助成金が高額に比べて手厚いので、うちの受験者は、大手の専門学校に通学させている。その学校では、一年目から日本語学習と介護の専門知識が学べるようにカリキュラムが作られている。さらに、大手の通信教育ができる学習もさせている。色々させているが、正直、どちらも教育効果を感じられないことは、確かだ。
- 受験者各人の能力の差もあるが、教育効果の差も感じられない。しかし、かなりの高額なお金がかかっている。大手だから安心と考えていたが、国家試験に合格できなければ意味がないので、今後の能力の伸びを確認して検討したい。
- コロナ感染症の影響を受けるのが一番の心配。通学が一番危険な状態だと思うので、これを何とか改善したい。(東京都・T施設)

**今後の受験対策学習が心配、
現状で進めても大丈夫??**

- 日本語教師に指導を任せている。一人はN2に合格したが、もう一人は落ちた。後輩は12月に入職して、すぐN3を受けて合格できた。少しずつではあるが、学習は何とか進んでいる。
- 二年目からは、いよいよ受験対策学習に入る予定でいる。果たして、現状の日本語力で受験勉強ができるか、自分たちだけで過去問題を解いたり、介護の参考書を読み進めたりできるのか、懐疑心はある。今までの学習方法で問題なく進んでいるわけでもないのに、先行きに不安がある。(福島県・O施設)

**職員が受験対策に入ると、
日本語能力に懐疑心が生じた！**

- 入職二年目までは、大手の日本語学校の教師が病院に来て、週一回指導をした。順調に学習でき、受験者二人とも二年目でN1合格ができたので、安心してた。
- しかし、その後、職員が一緒に国家試験問題を解くようになったところ、試験問題がスムーズに読めないことが多い。一度指導したところを数日経って同じ問題を解かせたら、間違えることもあり、本当に理解しているのか疑わしい。
- 勉強の仕方をどう指導したら良いのか分からないので、いつまでもついて指導しないとイケない。職員の負担も多いのが実態だが、解決策が見つからない。(東京都・O病院)

【受験者の言語能力を客観的に把握すること！】

- ※ 全国の多くの受け入れ機関では、未だに受験者の言語能力を客観的に把握しないままに、「専門教育優先」の考えで教育指導をしている。
- ※ その結果が、今回の国家試験合格率にも、具体的に反映されており、看護、並びに介護ともに、低い合格率となってしまっている。
- ★ 基本は、受験者の現状の「言語能力を把握すること」が、絶対必要だ。その上で、言語能力に基づいた【三か年学習計画】を立てることが重要だ。
- ★ 把握する手段としては、「基礎言語能力」が客観的に数値で分かる弊社の「10分間テスト」がある。このテストは、「読解力」だけではなく、「構文力」も分析でき、受験に必要な「瞬時反応能力」と、「言葉に対する捉え方の理解力」の差異をも判断できるものだ。

まだ間に合う、下記のような現象があれば、早めに弊社にご相談を！！

二年目の指導方法が分からない

- 「過去問題集」と「参考書」を二年目から学習させた所、過去問題を解くのに1時間に2~3問しか解けないし、正しい解答を選べない。「参考書」の指導では、漢字がある程度読めるので理解していると思ったら、実は、専門用語の意味が全然理解できていない等で、二年目の指導方法が分からずに、担当職員も投げ出す状態だ。
- ★ この事例は、一年目で【基礎言語能力】が養えていないことを示している。よって再度、やり直す必要がある。

「選択文」の表現が分からない

- 「適切」と「正しい」の表現に対して、同じ意味として捉えているために、正解を導き出すことができない。職員もこの表現に対して、正しく言葉理解させることができないため、受験者の間違いが幾度となく繰り返されてしまう。どのように教えて良いのかが分からず、悩んでいる。
- ★ 言葉には概念がある。「適切」と「正しい」は、明らかな違いがある。その違いを明確に示さない限り、受験者は、同じ過ちを繰り返す。

二年目の学習意欲が下がる

- 一年間日本語学習をさせても、正しい日本語を使えるわけでもなく、また、「漢字を毛織い」する者がいる。日本語能力がないために、専門知識の学習を指導しても分からないため、意欲をなくして学習しなくなる。どうすれば良いのか、大きな悩みだ。
- ★ 【基礎言語能力】がないままに専門知識を学習させたため、専門用語や知識の理解ができず、意欲を失っているのだ。このような声は、非常に多く、【基礎言語能力】を軽視した結果だ。

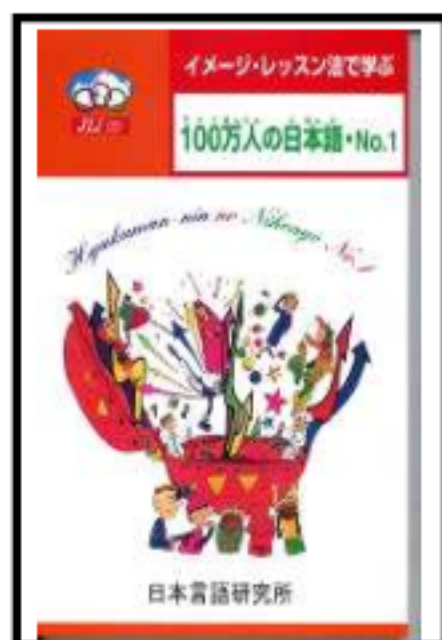
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル

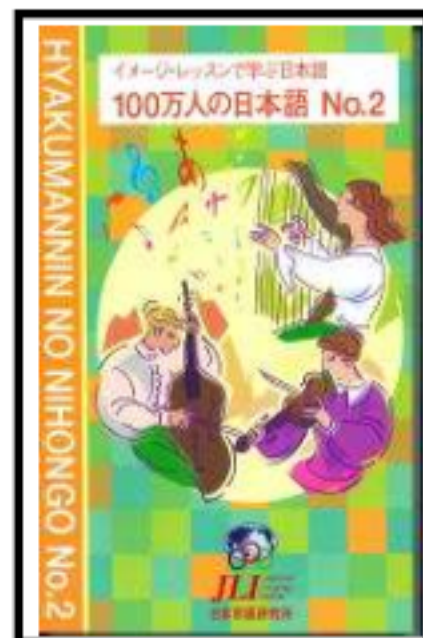
EPA学習支援
スカイプ・教材の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 9-4-12



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適応できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,200 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。
(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。
(1,980 円)

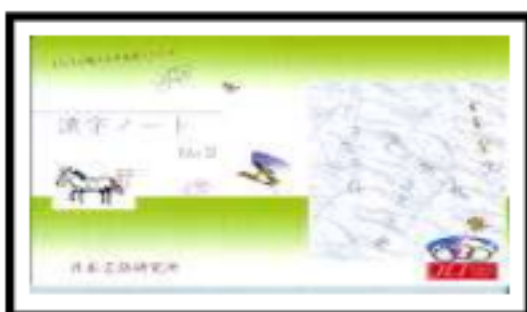


『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。
非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。
(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。
漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。
非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		